

<児童教育学科> (認定課程: 中一種免(英語))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	第1学期	○大学における学習、及び研究を遂行する上で必須となる学習スキル、学習習慣を獲得・確立することができる。それを基礎にして、教育者に求められる社会的責任や倫理観、職業観について理解することができる。また英語科教諭に必須である専門知識や英語運用能力の重要性について理解するとともに、教職キャリア形成への意識を持ち、中学校教諭一種免許状(外国語科英語)の取得に向けた自立的な計画を立てることができる。
	第2学期	○教職の意義及び教員の役割について把握し、児童・生徒や学校の現状と展望についての理解を深めることができる。また英語教諭となるための意欲と決意を確認し、自己の適性を見極め、英語教諭に求められる幅広い教養を修得することができる。
2年次	第1学期	○英語の統語論的特徴、および言語学に関する専門的な知識を修得するとともに、英語圏の文化・思想、及びその特徴を理解することができる。また英語教育のカリキュラムを理解し、実際に英語の授業実践に向けた方法論的な知識を修得することができる。
	第2学期	○英語の構造(音韻論、形態論、意味論、語用論)に関する専門的な知識を修得し、英語教育の対象領域と、それに関わる重要な課題について理解することができる。また英語を用いて授業実践ができるよう、基本的な英語の運用能力を修得するとともに、小学校外国語活動、外国語の教育実践に必要な英語運用力と英語に関する背景知識を修得することができる。
3年次	第1学期	○学習指導要領について基本的な事柄を理解し、実践的な指導技術を修得するとともに、実際の指導で用いる教科書や言語材料を分析・考察し、教室内での言語活動に関する具体的な事例を準備することができる。また教科に関する講義、演習を通じ、教材研究能力を向上させ、教育実習に向けての実践的能力を高めることができる。
	第2学期	○講義や演習を通じた教科に関する専門的な考察により、学習指導・教科指導をより発展的に理解し、その理解に基づいて生起する多様な課題を主体的に設定することができる。また学習指導案を作成し、一単位50分の中学校の英語の授業を設計するとともに、授業を評価するための基本的な知識を修得することができる。
4年次	第1学期	○卒業論文の執筆を通して、論理的思考力を身につけつつ、自立的・自律的に課題を探究することができる。また教育実習を通して英語の実践的な指導能力を修得し、英語教育に関する認識を深め、英語教諭としての資質をさらに発展させることができる。
	第2学期	○卒業論文を完成させることにより、大学で学んできたことの集大成として、個々の課題についての的確に考察する論理的思考力と、それを記述する表現力を修得することができる。